## 秋田県臨床細胞学会誌投稿規定

- 1. 本会会員の論文を発表することが本誌の目的なので、論文の投稿は、原則として本会会員に限る。
- 2. 投稿論文は、臨床細胞学を中心とし、他誌に未発表のものに限る。
- 3. 論文は原則として、和文とする。

4. 投稿は下記宛にする。

〒010-8543 秋田市広面字蓮沼44-2 秋田大学医学部附属病院 病理部・病理診断科

TEL: 018-884-6200 FAX: 018-884-6570

E-mail: surpatho@hos.akita-u.ac.jp

## 投稿要領

- 1. 本誌に掲載するものは、原著、総説、症例、短報など、臨床細胞学の進歩に寄与しうるものとする
- 2. 原稿は、ワープロソフトを用い、A4サイズ縦長で、ダブルスペースにて横書きする。文字は12Pt以上、 平仮名、常用漢字、現代仮名遣いを用いる。ただし、固有名調や一般に用いられている学術用語はこの 限りではない。
- 3. 論文の長さは、以下の表に従う。

|    | 本文字数制限    | 要旨 | 図表枚数  |
|----|-----------|----|-------|
| 総説 | 12,000字以内 | 必要 | 10枚以内 |
| 原著 | 12,000字以内 | 必要 | 10枚以内 |
| 症例 | 6,000字以内  | 不要 | 5枚以内  |
| 短報 | 3,200字以内  | 不要 | 4枚以内  |
|    |           |    |       |

- 1) 本文字数にはタイトル頁、要旨、文献は含まれない。
- 2) 図表は1点あたり、400字として換算する。

例:原著;本文9,200字+図表7枚=12,000字。

## 4. 原稿の様式

- (a) 原稿の構成は題名、所属、著者名、索引用語 (keywords)、緒言、方法あるいは材料 (症例)、結果 (成績)、考察、文献、図表、写真の順に記載する。ただし、原著、総説は、内容抄録を500字以内にまとめる。
- (b) 著者名のあとに、以下の略号によりそれぞれの称号あるいは資格を付記すること。医師:M.D.,医師、国際細胞学会メンバー:M.D.,M.I.A.C.,医師、国際細胞学会フエロ…:M.D.,F.I.A.C.,臨床検査技師:M.T., 圏内細胞検査士:C.T.,J.S.C.,国際細胞検査士:C.T.,I.A.C.上記以外の方は称号あるいは資格を付記しなくともよい。
- (c) 索引用語(keywords)は、論文の内容を暗示する英語の単語を5語以内併記する。原則として、第1語は対象臓器、第2語は方法、第3語以下は内容を暗示する単語とする。

(d) 文献は主要なものに限り、10編以内にとどめ、著者名の引用順にならべる。

文献表記はバンクーバースタイルに、誌名略記は日本医学図書館協会編:日本医学雑誌略名表および Index Medicusに準ずる。

(雑誌)著者名 (3名まで3名を超える場合はその後を"他"、"et.al."と略記する). 表題名. 雑誌名発行年 (西暦) ; 巻:頁~頁.

(単行本)著者名. 表題. 発行地:発行所、発行年(西暦). なお、引用が単行本の一部である場合には表題の次に編者名、単行本の表題を記し、発行年(西暦)の後に:頁~頁. を記載する。

- (e) 度量衡単位は cm、mm、ml、1、g等 CGS単位を用いること。医学用語は略語を用いてもよいが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにすること。
- (f) 原稿の作成および投稿方法
  - 1) 電子媒体による投稿とする;
  - 2)文章原稿;Word(Win. Mac)もしくは text形式に限定。

図、表・・・・Excel (Win, Mac)

写真・・・・Photoshopで作成した写真(12X9cm、解像度400dpi)

3) 提出内容・方法;

文章原稿や図、表、写真は CDや MO、USBメモリで送付

- 5. 掲載料は規定枚数に限り無料とする。別冊代は著者負担とし、校正時に明記する。
- 6. 原則として原稿の返却はしない。
- 7. 原稿、写真には個人を特定できるような情報が含まれてはならない
- 8. 投稿規定は改正することができる。

(平成7年9月28日、一部改正)

(平成21年6月6日、一部改正)

(平成25年6月17日、一部改正)